



# 北上っ子 読書活動推進プラン

第2次北上市子どもの読書活動推進計画

# 目 次

## 第1章 はじめに

## 第2章 計画の基本的な考え方

## 第3章 家庭、地域、学校等及び行政における子どもの読書活動の推進

### 1 家庭、地域、学校等及び行政の役割

### 2 協力・連携による活動

## 第4章 各世代における読書活動推進のための取り組み

### 1 乳幼児のために

- (1) 現状と課題
- (2) 今後の取り組み

### 2 児童のために

- (1) 現状と課題
- (2) 今後の取り組み

### 3 生徒のために

- (1) 現状と課題
- (2) 今後の取り組み

## 第5章 指標

## 資 料

## 第1章 はじめに

現在、テレビやインターネットなどの情報メディアの発達や普及による子どもの生活環境の変化により「文字・活字離れ」が深刻化しています。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことができないものです。社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要であることから、子どもの読書活動の推進のための取り組みを進めていくため平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されました。

本市においても、子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進する目的で平成18年に「北上市子どもの読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という）を策定し、子どもの読書活動を推進するための取り組みを行ってきました。

学校図書館では蔵書管理のデータベース化や館内の環境整備に取り組みました。また、乳幼児健診では、保護者に読み聞かせのアドバイスをする等の様々な取り組みも行われ、読書活動の環境整備が推進されました。

第1次計画の成果と課題を踏まえながら、本市の教育の基本目標としている「郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり」の実現に有効なものとなるよう、子どもたちの「豊かな心」を育む読書活動を今後も継続して推進するため第2次計画を策定するものです。

## 第2章 計画の基本的な考え方

読書活動は、生きる力や楽しみを与えてくれる有意義な文化活動です。

北上っ子が本を通してたくさんのことを学び、豊かな心をはぐくみ、健やかに成長することを願って、次の基本的な考えのもと、子どもたちが読書を楽しみを感じるように、家庭、地域、学校等で子どもの読書活動を推進するために必要な環境の整備と充実に取り組みます。

### (1) 子どもの成長段階に応じた読書に親しむ機会の充実

子どもが読書習慣を身につけていくためには、乳幼児期から絵本とふれあうことが重要です。そこで、子どもの成長段階に応じた読書の楽しさを知るきっかけ作りや、本に親しむ機会の充実に努めます。

### (2) 家庭、地域、学校等における読書活動の推進

地域社会で読書活動を推進する機運を高めていくため、子どもの読書活動の意義や重要性について理解と関心を深める必要があります。

また、子どもの読書活動を推進していくため、家庭、地域、学校等及び行政はそれぞれ担っている役割を果たしながら、相互に連携を深め、協力し合う体制を大切にしていけます。

### (3) 読書環境の整備と図書の実充

保育所や幼稚園、学校及び市立図書館等は、子どもにとって身近な本との出会いの場であり、子どもが意欲的に本を読むためには、その環境づくりに努めることが重要です。

子どもが読書に対する興味や関心を持つきっかけとなるよう、多様で良質な図書の充実に努めます。

### 計画の期間

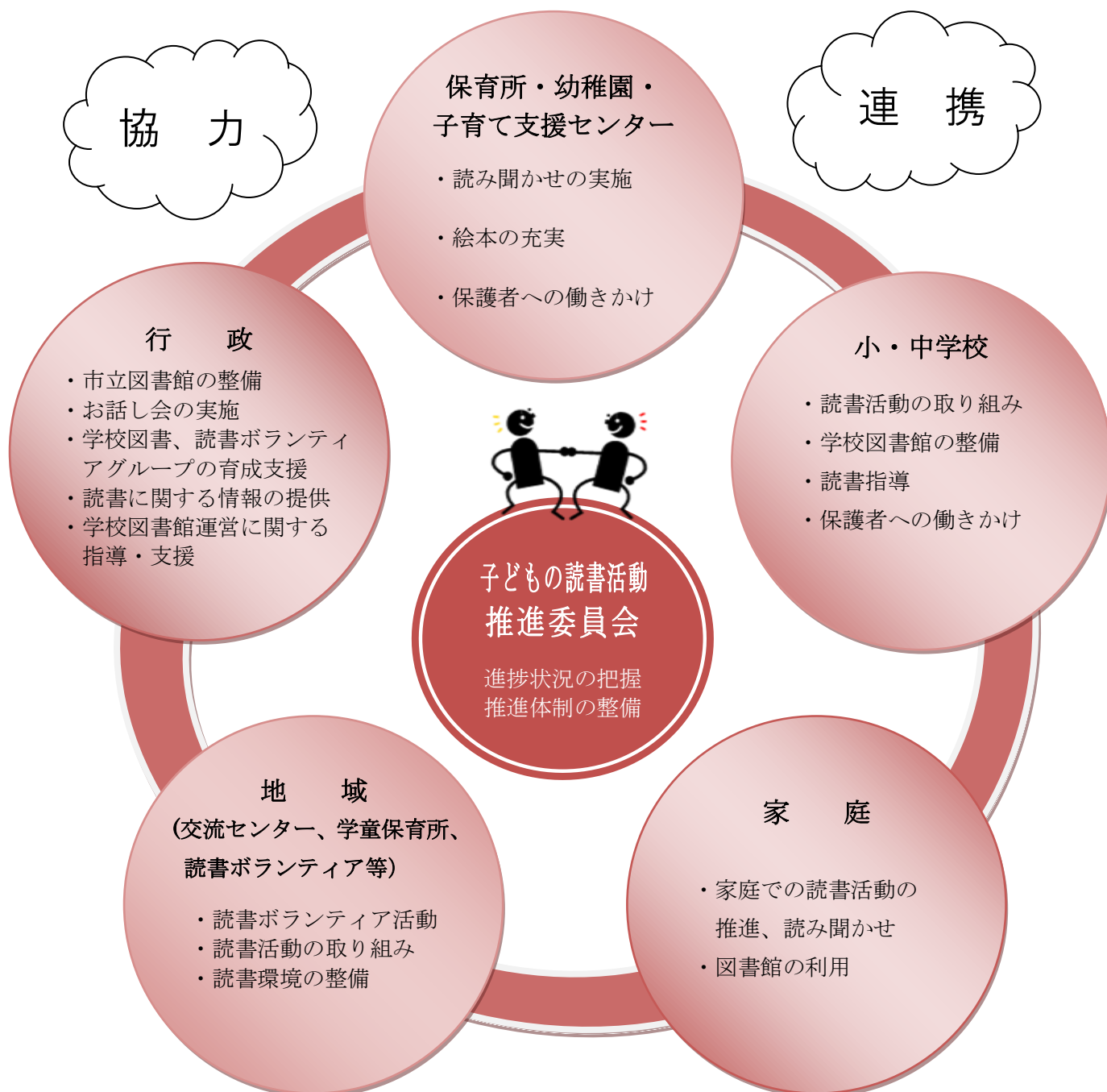
平成 25 年度から 27 年度までの 3 カ年の計画とします。

### 計画の進行管理

計画を効率的かつ着実に実施するためには、取り組みの成果の点検と評価を行う必要があります。このため、北上市子どもの読書活動推進委員会において毎年度計画の進行管理を行い、着実な推進を図ります。

## 第3章 家庭、地域、学校等及び行政における子どもの読書活動の推進

### 1 家庭、地域、学校等及び行政の役割



※この計画でいう「学校等」には小・中学校の他に、保育所・幼稚園なども含まれます。

## 2 協力・連携による活動

子どもの読書活動を推進するために、家庭、地域、学校等及び行政がそれぞれ担うべき役割を果たす一方で、それぞれの枠を超えてこれまで以上に協力・連携して取り組んでいく必要があります。

### 家庭との協力・連携

#### ○学校等

読書に関する情報を家庭に提供し、家庭での読書を呼びかけます。

#### ○地域

家族で本に親しむことができる機会を提供します。

#### ○行政

読書に関する情報提供を積極的に行い、読書の大切さを伝えます。

また、家族で利用しやすい市立図書館の環境整備に努めます。

### 地域との協力・連携

#### ○家庭

地域でのおはなし会に積極的に参加し、読書に関する理解を深めます。

#### ○学校等

読書ボランティアによるおはなし会を計画するなど、本に親しむ機会を提供していきます。また、学校図書ボランティアの活動支援を行いながら、学校図書館の環境整備に努めます。

#### ○行政

読書ボランティアとの連携により家族が市立図書館を利用しやすい環境整備に努めるとともに、研修会の開催と育成支援に努めます。

また、読書ボランティアの活動を市の広報やホームページ等で紹介し、その活動の推進に努めます。

### 学校等との協力・連携

#### ○家庭

保育所・幼稚園の絵本や学校図書館の図書を積極的に利用するよう子どもに働きかけるとともに、読み聞かせや図書の紹介等を通じ、子どもたちに読書の楽しさを伝えていきます。

また、ボランティアとして学校図書館の環境整備を支援します。

#### ○地域

ボランティア活動により、読み聞かせ会を学校や保育所・幼稚園等で行い、子どもが本と親しむ機会を提供し、学校図書館の環境整備を支援します。

#### ○行政

移動図書館（ともしび号）による本の貸し出し等、図書の提供を行います。

また、学校図書館運営に関する指導・支援を行います。

#### ◎学校（保育所、幼稚園、小学校、中学校）間の協力・連携

小中学校が保育所や幼稚園に出向いて行う体験学習で、読み聞かせを取り入れるなど、児童や生徒が園児に読書の楽しさを伝える機会を作ります。

### 行政との協力・連携

#### ○家庭

家族みんなで市立図書館を利用します。

#### ○学校等

学校図書館運営に関する指導や助言を受けるなど連携して運営の改善を図ります。また、市立図書館と連携を図り工夫しながら図書の充実に努めます。

#### ○地域

読書ボランティアは引き続き市立図書館と連携し読み聞かせ会や図書館利用への環境支援を行います。

### その他

学校や地域等のそれぞれの横のつながりを大切にし、個々に行われている良い取り組みを広めていくため、情報を共有します。

子どもの読書活動推進委員会はその情報を共有する体制の整備に努めます。

## 第4章 各世代における読書活動推進のための取り組み

### 1 乳幼児のために

#### (1) 現状と課題

市内のほとんどの保育所・幼稚園では、読み聞かせがほぼ毎日行われ、多くの施設では絵本の貸し出しも行っています。また、市立図書館のともしび号が多くの施設で利用され、本との良い出会いの場となっています。

しかしながら、読み聞かせによる親子のふれ合いを深めている家庭がある一方、本の選び方がわからなかったり、子どもが字を読めるようになると読み聞かせをやめてしまう例があります。このように、保護者の意識や認識の違いから、子どもが本に親しむ機会に差が生じています。

#### (2) 今後の取り組み

##### ○乳幼児のための読書活動

保育所・幼稚園では引き続き読み聞かせを行い、子どもが読書の習慣を身につけるよう努めます。また、市立図書館やともしび号等を利用し、本とのふれあいの場を提供します。

子育て支援センターや交流センターにおいても、読み聞かせ会を行い親子が本に親しむ機会を提供します。

##### ○読書環境の整備と図書の実充

保育所・幼稚園では図書コーナーのスペースが十分とは言えない施設が多い状況ですが、図書コーナーに絵本の紹介コーナーを設ける等引き続き工夫をしながら整備を行い、良質な図書の充実に努めます。また、家庭での読書につながるよう本を貸し出します。

また、市立図書館でも良質な図書の充実に努めるほか、岩手県視聴覚障がい者情報センターなどの紹介や宅配による貸出等、障がいのある子どもに対する支援に取り組みます。

##### ○保護者に対する意識啓発

市立図書館では本との出会いの場となるよう引き続き「おはなし会」等を実施しながら、保護者の意識啓発に努めます。

保育所や幼稚園はおたよりや保護者参観、講演会や読み聞かせ会等により保護者に読書の大切さを伝え、行政は乳幼児健診や広報、ホームページ等を利用しながら読書に関する情報を発信し、読み聞かせのアドバイスをを行います。



## 2 児童のために

### (1) 現状と課題

小学校では朝読書をはじめ様々な読書活動が行われています。

また、保護者を中心に学校図書ボランティアグループが全小学校で組織され、その活動は学校図書館の整備や読み聞かせ等、読書活動の推進に大きく貢献しています。このような活動により、学校図書館の貸出冊数も年々増えており、児童の読書状況は良い傾向にあると言えます。

しかしながら、読書よりテレビやインターネット、ゲームなどに興味や関心を持つ子どもも多く、学年が上がるにつれて読書離れが進む傾向にあります。また、読書の習慣化には家庭での取り組みが重要ですが、子どもだけでなく大人の読書離れの傾向があり影響が懸念されます。

### (2) 今後の取り組み

#### ○児童のための読書活動

小学校では継続して朝読書を実施します。また、図書館機能の理解と活用の学習機会を設けるよう努めるとともに、積極的に読書指導を行います。特別支援学級においては子どもの特性や発育段階に応じた読書活動に努めます。

学童保育所では読書の時間を設ける等読書に親しむ機会を提供します。

行政は、読書ボランティア等の協力を仰ぎ、読み聞かせ会を実施します。また、市立図書館の利用促進を図るきっかけ作りに努めます。

#### ○学校図書館

小学校は、学校図書館の活用の拡大を図り、利用指導を行います。移動図書館（ともしび号）を利用する等、市立図書館と連携を図り工夫しながら図書の実充に努めます。また、環境整備や図書の補修等を行う学校図書ボランティアの活動が継続して行われるよう、学校と行政はその活動を支援し、協力体制の構築に努めます。

#### ○保護者への啓発活動

小学校では学校だよりや学年・学級通信を利用し保護者に読書の大切さを伝えるよう努め、家庭で読書の時間を作るよう、働きかけます。

また、学校図書ボランティア活動に関する情報を発信し、活動継続に向け、人員確保に努めます。

行政は、子どもだけに読書を推進するのではなく、大人も一緒になって本を読む機会が増えるよう、広報やホームページなどで情報提供を行います。

#### ○専任司書教諭

子どもの読書活動推進のため、専任の司書教諭の配置について、国や県に要望します。

### 3 生徒のために

#### (1) 現状と課題

中学校では全校での朝読書が定着し、学校図書館の蔵書冊数や利用冊数も徐々に増えてきています。

しかしながら、インターネットや携帯電話等に代表されるIT技術の発達により、情報入手手段が紙媒体から電子媒体へと変化していることでの活字離れと併せて、中学生になると部活動や自宅学習等による時間制約があり、小学生の時より読書時間が減少する傾向にあります。そして、読書している子どもの興味や関心により読書内容にも偏りが生じています。

#### (2) 今後の取り組み

##### ○生徒のための読書活動

中学校では小学校に引き続き朝読書を実施し、読書習慣の定着に努めます。また、教科に関連した読書指導を通じ、多種多様な事柄について学び、様々なものの見方や考え方を知る機会を増やします。

特別支援学級においても子どもの特性や発育段階に応じた読書活動を進めます。

##### ○学校図書館

幅広い読書活動に向けて、生徒の様々な興味・関心の喚起に努めます。また、図書館資料を活用した多様な教育活動の展開をめざし、蔵書（量・質）の充実に努めるとともに、市立図書館のレファレンスサービスを利用しながら資料の充実を図ります。

入学時には館内の利用指導を行い、各自の活発な利用を働きかけます。

学校図書ボランティアの活動については、学校と行政はその活動が継続するための支援を行い、協力体制の構築に努めます。

##### ○生徒による多様な読書活動

体験学習や図書委員会の活動において、読み聞かせを取り入れる等、生徒による多様な読書活動の推進を図ります。

##### ○保護者への啓発活動

学校だよりや学年・学級通信を利用し保護者に読書の大切さを伝えるよう努め、家庭で読書の時間を作るよう働きかけます。

また、学校図書ボランティア活動に関する情報を発信し、活動継続に向け、人員確保に努めます。

行政は、子どもだけに読書を推進するのではなく、大人も一緒になって本を読む機会が増えるよう、広報やホームページなどで情報提供を行います。

○専任司書教諭

子どもの読書活動推進のため、専任の司書教諭の配置について、国や県に要望します。



## 第5章 指 標

この計画の進行状況を把握するため、次のとおり指標を設定し推進を図ります。

### (1) 読書が好きな子どもの割合

目標値

	23年度実績	25年度	26年度	27年度
小学校5年生	81.8%	83.6%	84.5%	85.4%
中学校2年生	78.8%	79.5%	80.2%	80.9%

#### 設定の考え方

現在、県の平均を下回っている状況であるため、県の平均（23年度結果＝小学5年生85.5%、中学2年生80.2%）を目指した数値とする。（この調査は岩手県の読書状況調査による）

### (2) 図書館の利用

ア 市立図書館（児童書）と学校図書館の年間平均貸出冊数と学校図書館における中学生不読者数

目標値

		23年度実績	25年度	26年度	27年度
市立図書館		11.8冊	11.8冊	11.9冊	12.0冊
学 校 図 書 館	小学校 低学年	69.1冊	69.6冊	70.1冊	70.7冊
	小学校 中学年	53.8冊	54.3冊	54.9冊	55.5冊
	小学校 高学年	41.9冊	42.4冊	42.9冊	43.5冊
	中学校	2.4冊	2.5冊	2.6冊	2.7冊
	中学校 不読者率	55.8%	45.8%	35.8%	25.8%

#### 設定の考え方

##### ▶市立図書館の貸出冊数

年々減少傾向にあるが、増加を目指す。

▶学校図書館の貸出冊数

- ・小学校…学校ごと、更に学年によってばらつきが見られるため、低、中、高学年ごとに基本の目標値を定め、目標値に満たない学校は前年度の実績より毎年1冊増やし、満たしている学校は可能な範囲で利用が伸びるよう努める。
- ・中学校…毎年0.1冊増やすことを目標とする。その値に満たない学校は前年度実績より1冊の増加を目指し、満たしている学校は可能な範囲で利用が更に伸びるよう努める。

不読者率は毎年10%の減少に努め、最終年度には現在のほぼ半減を目指す。  
目標値を満たしている学校は不読者率を極力無くすよう努める。

イ 移動図書館「ともしび号」による保育所・幼稚園等への年間平均貸出冊数  
目標値

23年度実績	25年度	26年度	27年度
218.7冊	230.7冊	236.7冊	242.7冊

設定の考え方

確実な増加を目指し、毎年度6.0冊の増加を目指す。

# 資 料

活動紹介

学校図書館運営状況調べ

北上市子どもの読書活動推進委員会設置要綱

北上市子どもの読書活動推進委員名簿

北上っ子読書活動推進プラン策定の経過

# 活 動 紹 介

## おはなし会

読み聞かせボランティアグループの協力により、市立図書館3館で絵本の読み聞かせや紙芝居を行っています。

- おはなし会開催日
- ◎中央図書館 : 毎月第2日曜日
- ◎江釣子図書館 : 奇数月の第3日曜日
- ◎和賀図書館 : 偶数月の第3日曜日



## 読書ボランティアグループ

ボランティアで読み聞かせなどの活動をしている団体です。図書館や学童保育所などで読み聞かせなどを行っています。

- よしきり会 ブラックシアター(※)、読み聞かせなど
- 十二支会 図書館のおはなし会を担当
- おはなしポケット 市内の幼稚園や小学校などで読み聞かせ
- サークル「よ〜める」 朗読、読み聞かせ
- 絵本ふれあいボランティアぽっぽの会 読み聞かせ、紙芝居制作
- 人形劇サークル「ゆめのたね」 パネルシアター、エプロンシアター (※)
- 図書ボランティア「たんぽぽ」 岩手県立中部病院で読み聞かせ
- おはなし「つくしの会」 読み聞かせ講座受講生で結成。(現在休会中)

【詳しくは中央図書館 (☎63-3359) にお問い合わせください。】

※ブラックシアター、パネルシアター、エプロンシアター  
…パネルやエプロンを舞台に絵人形などを動かしながら演じるおはなしやうたあそび。ブラックシアターはそれにブラック(紫外線)ライトを利用することできれいに光る。右の写真はエプロンシアターの様子。



## 移動図書館・ともしび号

市立図書館では、施設図書館から遠い所に住んでいる人にも本を貸し出すため、移動図書館車・ともしび号を運行しています。小学校はもちろん、老人福祉施設や地区の公民館、保育所・幼稚園などを中心に市内を巡回しています。

ともしび号で借りた本はともしび号と市内3つの図書館のどこにでも返すことができます。



## 学校図書ボランティアの活動

各小中学校で組織され、学校図書館の本の補修や、環境整備・読み聞かせなどの活動を行っています。



配架の見直し作業・館内整備（黒沢尻東小学校）



蔵書点検（江釣子中学校）



## 地域文庫

地域文庫は地元の人たちで運営している地域の図書館です。本に触れられる身近な場所として利用されています。

○常盤台地域土曜文庫（常盤台自治公民館）

常盤台2-10-27

◎開館時間 毎週土曜日午前10時～正午  
午後1時～4時



○野中地域文庫（野中公民館）

和賀町藤根17-163-1

◎開館時間 野中公民館開館時（不定期）



### 【私設文庫】

○にわとり文庫：口内町荒町6-5

土曜日午後1時～6時

## いわての中高生のためのおすすめ図書100選 「いわひやく」

岩手県教育委員会は中高生の豊かな本との出会いを応援するため、ブックリスト「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」・愛称『いわひやく』を作成し、県内すべての中学校・高校に配布しました。

岩手県の作家や岩手県が舞台となっている本も紹介されていて、学校図書館の選書にも役立ちます。

市立図書館にも「いわひやく」に選ばれた本がたくさん配置されています。



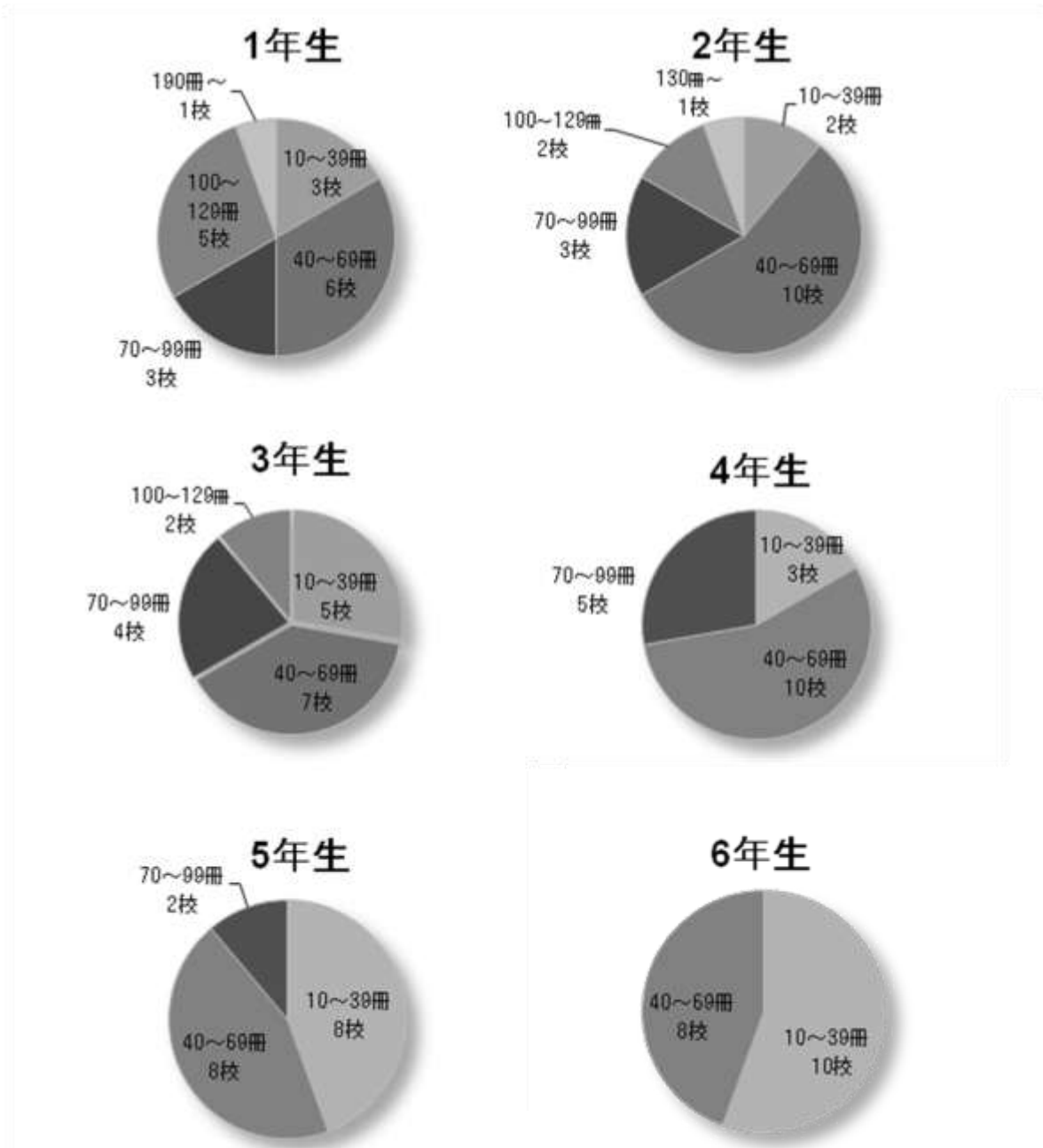
※「いわひやく」は岩手県のホームページからダウンロードすることができます。

<http://ftp.www.pref.iwate.jp/>

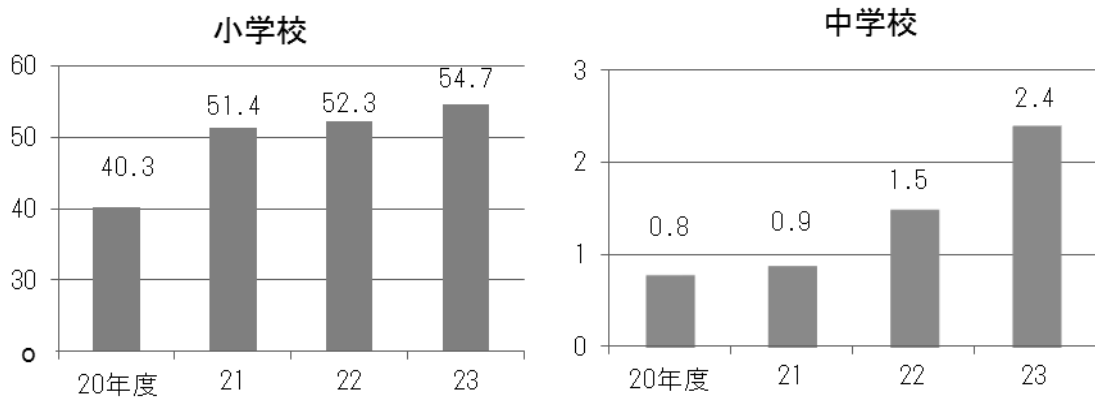
# 学校図書館運営状況調べ

調査対象期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日  
(平成23年度学校図書館運営状況調べより抜粋)

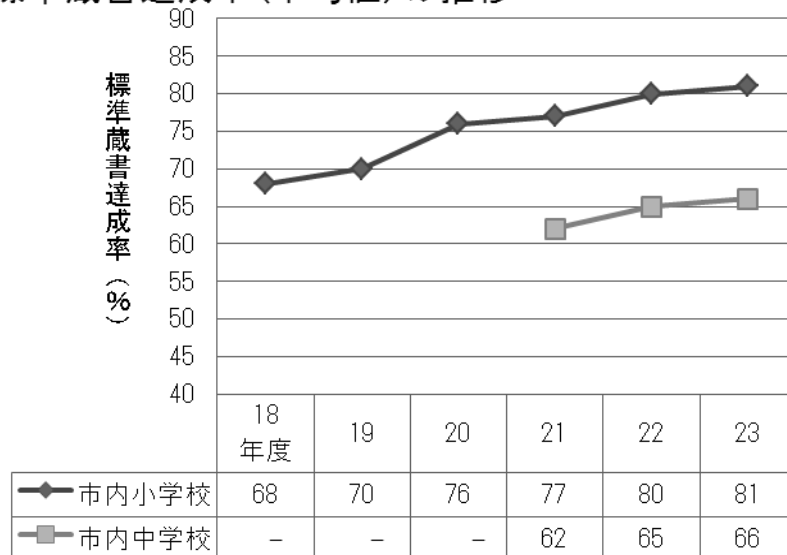
## ●学年別小学校図書館1人当たり年間貸出利用冊数学校数(全18校)



●市内小中学校年間1人当たりの学校図書館利用冊数の推移（単位：冊）

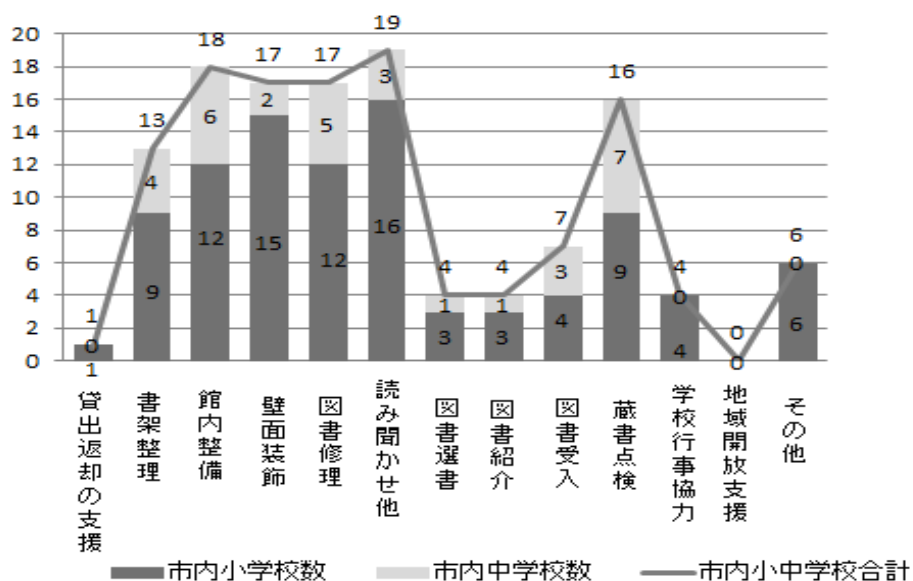


●標準蔵書達成率（平均値）の推移



※これは、学校図書館のデータベース化が完了してからのデータです。

●学校図書館ボランティアの活動内容と学校数（単位：校）



# 北上市子どもの読書活動推進委員会設置要綱

(設置)

第1 子どもの読書離れが進む中、情緒豊かな子どもを育成するため、北上市子どもの読書活動推進計画（以下、「北上っ子読書活動推進プラン」という。）を計画的に推進するため、北上市子どもの読書活動推進委員会（以下、「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2 委員会は、次の事項を処理する。

- (1) 北上っ子読書活動推進プランの推進方策の検討に関すること。
- (2) 北上っ子読書活動推進プランの実施に関して、学校・地域・団体・家庭への周知及び助言を行うこと。
- (3) 北上っ子読書活動推進プランの進捗状況を把握するとともに、その成果と課題を協議すること。
- (4) 北上っ子読書活動推進プランの見直しに関すること。
- (5) その他北上っ子読書活動推進プランの推進に関すること。

(組織)

第3 委員会は、委員18人をもって組織し、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| (1) 幼稚園関係者             | 2人（公立・私立 各1人） |
| (2) 保育園関係者             | 2人（公立・私立 各1人） |
| (3) 小・中学校関係者           | 2人（小・中 各1人）   |
| (4) 市PTA連合会関係者         | 1人            |
| (5) 学童保育所運営関係者         | 1人            |
| (6) 子育てサークル関係者         | 1人            |
| (7) 自治組織関係者            | 1人            |
| (8) 学校図書ボランティア代表者      | 2人（小・中 各1人）   |
| (9) 読み聞かせボランティアグループ関係者 | 1人            |
| (10) 北上読書連絡会関係者        | 1人            |
| (11) 市関係課等の職員          | 4人            |

(学校教育課・子育て支援課・健康増進課・中央図書館)

(任期)

第4 委員の任期は、委嘱又は任命された日から当該年度の3月31日までとし、再任を妨げない。

2 補欠により委嘱又は任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5 委員長を置き、委員の互選とする。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6 会議は年3回開催を原則とし、必要に応じて委員長が招集する。

(庶務)

(※)

第7 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習文化課において処理する。

(※)生涯学習文化課は平成25年4月からまちづくり部（市長部局）に移管されます

## 平成24年度北上市子どもの読書活動推進委員

	氏 名	所 属 団 体 名 ・ 役 職 名	選 出 区 分
1	佐藤 みほ子	むらさきの幼稚園長	岩手県私立幼稚園連 合会北上地区会
2	菊池 協子	黒沢尻幼稚園園長	公 立 幼 稚 園 長 会
3	藤原 貴子	川岸保育園長	北 上 市 私 立 保 育 園 長 会
4	小原 千賀子	二子保育園長	公 立 保 育 園 長 会
5	木村 利光	黒沢尻東小学校長	北 上 市 校 長 会
6	及川 俊文	和賀東中学校長	北 上 市 校 長 会
7	高橋 克史	北上市PTA連合会副会長	関 係 団 体 (市 P T A 連 合 会)
8	飯島 薫	きたかみ子育てサークル連合代表	関 係 団 体 (子 育 て サ ー ク ル)
9	昆野 麻優	口内学童保育所指導員	関 係 団 体 (学童保育所運営組織)
10	高橋 正信	岩崎地区自治振興協議会長	関係団体(自治振興協議会)
11	菅原 圭子	黒沢尻東小学校図書ボランティア	関 係 団 体 (学校図書ボランティア)
12	佐藤 芳子	江釣子中学校図書ボランティア	関 係 団 体 (学校図書ボランティア)
13	千田 たつ子	よしきり会	関 係 団 体 (読書ボランティア)
14	武埜 忍	北上読書連絡会副会長	関 係 機 関 (北 上 読 書 連 絡 会)
15	高橋 謙輔	北上市保健福祉部健康増進課長	行 政 機 関
16	盛島 徹	北上市教育委員会学校教育課長	行 政 機 関
17	小原 善浩	北上市教育委員会子育て支援課長	行 政 機 関
18	小原 金則	北上市教育委員会中央図書館長	行 政 機 関

## 北上っ子読書活動推進プラン策定の経過

- 平成24年 8月 第1回庁内推進部会
- 9月 第2回庁内推進部会
- 10月 第3回庁内推進部会  
第1回北上市子どもの読書活動推進委員会
- 11月 第4回庁内推進部会  
社会教育委員会議において報告・協議
- 12月 第2回北上市子どもの読書活動推進委員会  
教育委員会議において報告・協議
- 平成25年 2月 パブリックコメント募集
- 3月 第3回北上市子どもの読書活動推進委員会  
社会教育委員会議において報告・協議  
教育委員会議において決定



2013年3月 発行  
北上市教育委員会生涯学習文化課

※同年4月からまちづくり部生涯学習文化課